

この子らと

令和7年4月号

命輝く子ども



観音ヶ池(いちなき串木野市)

わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男

明るく・楽しく・ぬくもりのある園 春は出会いの季節



甲突川河畔

鹿児島市内の桜の便りも聞こえてまいりました。ときはまさに百花繚乱、そして、出会いの季節です。

さわやかな春の風が、24名の園児と4名の職員を本園に運んできてくれました。

本園は、「地域に浮かぶ船」のようなものです。

地域の皆さま、保護者の皆さま等の支えなくして子どもたちを乗せた船は、目的地に入港することはできないと思っております。

101名の子どもたちと31名の職員を乗せた船が出航しました。

わたしたち職員も、子どもたちの成長のために職種を超えて、精進・努力いたしますので、ご支援・ご協力についてよろしくお願い申し上げます。

一期一会

ももとは千利休の弟子の著書の中に「茶会に臨む際は、その機会を一生に一度のものと心得、相手に誠意を尽くしなさい」との一文があります。

「一期」とは一生、「一会」とは一度の出会いということです。



常に「これが最後かもしれない」と考えて、その時を大切にしなさいという教えです。

子どもたちと保護者の皆様との出会いも、やはり「一期一会」の出会いです。子どもたち一人一人、保護者のみなさま一人お一人に誠意を尽くし、結果責任を果たしていきます。

また、保護者のみなさまのご意見等を真摯に受け止め、保護者のみなさまとより良い協力関係を築きながら、子どもたちの育ちについてともに歩みを進めていきたいと思っております。

令和7年度の本園の経営の方針

子どもたち一人一人は、いつか必ず花咲く「可能性」という種子を無限にもっています。本園は、子どもたちの可能性が花開くように未来につながる教育・保育を実践してまいります。

園訓 「たったひとつの命を大切に共に育ち合う」

教育・保育の方針

- 1 子どもたちが、直接的・具体的な体験の中で、「見方・考え方」を働かせ、試行錯誤を繰り返す「主体的・対話的で深い学び」を保障する教育・保育を進めます。(適切な教育・保育の実践)
- 2 自由保育・設定保育のバランスのとれた教育・保育を進めます。(意図的・計画的な教育・保育)
- 3 子ども一人一人の人権を尊重する教育・保育を進めます。(不適切な教育・保育「0」)

子どもたち一人一人の人権を尊重する教育・保育を進め、不適切保育「0」件の園づくり、適切な教育・保育が進められる園づくりを職員とともに取り組んでまいります。

本園に在園する子どもたち一人一人は、いつか必ず花咲く「可能性」という無数の種子をもっています。その種子に、深い愛情をもって水を注ぎ、栄養を与えながら、子どもたち一人一人に未来を生き抜く「生きる力」の根っこの部分を育ててまいります。



“子どもたち一人一人の最善の利益を第一に”



園探検の子どもたちが

職員室を訪問してくれました。

挨拶もきちんとできました。

各クラス、出発進行です。

本年度もよろしくお願いいたします。行き届かない点がありましたらご遠慮なく申し出てくださるようお願いいたします。